

主体的な行動を続けていこう

校長 糸井 一雄

中間試験を1週間前に控えた朝礼で「主体的」という言葉についてお話ししました。「自主的」は「自分で進んでやること」。主体的は「何をやるかは決まっていない状況でも自分で考えて、判断して行動すること」です。この「主体的」な行動ができているか、もう一度振り返ってください。

まず中間試験については1年生のみなさんは初めての定期試験でした。とまどいもあったと思います。やはり1週間前の学活で担任の福田先生から試験勉強についてどうしていったらいいか、丁寧に指導を受けました。最終的には、自分に合った勉強方法を見つけていくしかない、と助言されました。これがまさに「主体的」な取組になります。自分に合った勉強方法は1週間では見つけきれなかった人が多かったと思います。2, 3年生のみなさんでもまだ自分に合った勉強方法が見つけきれない人もいますかと思っています。いろいろ取組んで試行錯誤しながら見つけていって欲しいです。

主体的な学習を実は毎時間の授業でも行っています。授業担当の先生から提示された問題や発問をまずは自分の力でしっかり考えます。自分の力だけではどうしてもうまく説明できないことも出てきます。そうすると、その後に小グループでの話し合い活動をやることもあると思います。(感染防止のため、他の人としっかりと距離を取ってやってもらっています。)その時間を通して、他の人の意見をよく聞いて、「なるほど」、「そうか」と気づくことができると良いです。生徒同士で高め合う時間です。

運動会の練習も3年生がリーダーとして大変主体的な練習ができていました。3年生の指示で練習を始めると、1, 2年生からももっとこうしたらいい、というような会話も聞くことができました。指示をうけるだけでなく、後輩の生徒もしっかり考えて工夫をしていました。運動会当日のみなさんの競技に対する姿勢や、一生懸命さはもちろん素晴らしく感動しました。でも一番感心したことはあの練習の時間でした。準備にしっかりと主体的にとり組み、生徒同士で互いを高め合ったからこそ大成功で終わったのだと思います。ぜひ自信をもってほしいです。特に3年生のみなさん、よく頑張ってくれました。

このような「主体的」な行動は、みなさんが大人になっても当然必要なことです。人からの指示を待っているだけでは社会人として困ります。いろいろ困難なできごとに直面したとき、逃げてしまわずに、まずはしっかり考えて判断するようにしていきましょう。もちろん自分だけでは無理なときには人の助けを求めることも重要な判断となります。

「主体的」な行動を頑張って毎日とり続けていきましょう。



5月運動会練習



檜原中学校のホームページアドレス <https://rlco.jp/hinoharachuugakkou/>

※ホームページアドレスが変わりました。(以前のホームページから自動的に移動します)

第1学年「4月27日 地域清掃」

第1学年主任 鈴木 達己

「ふるさと檜原学習」の一環として、学校から払沢の滝までの道のゴミ拾いに出かけました。あらかじめ、見たいポイント、確認したいポイントをみんなで話し合って当日を迎えました。滝に向かう道中は、探してやっとゴミが見つかる程度でした。良いお天気で、檜原の自然の美しさも再確認することができました。しかし、帰り道に払沢の滝の駐車場に寄って驚きました。駐車場には、お弁当や空き缶など、大量のゴミが放置されており、それをみんなで全て拾い綺麗にして帰ってきました。「なぜポイ捨てするの?」「もっと丁寧に駐車場を使ってほしい」という言葉が振り返りのプリントに書かれていました。本当にその通りですね。今後の総合の時間の中で、気付いたことや経験したことを基にみんなで改善策を考えて、未来の檜原村を作っていきます。

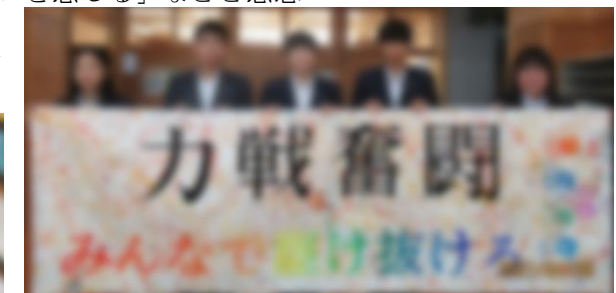
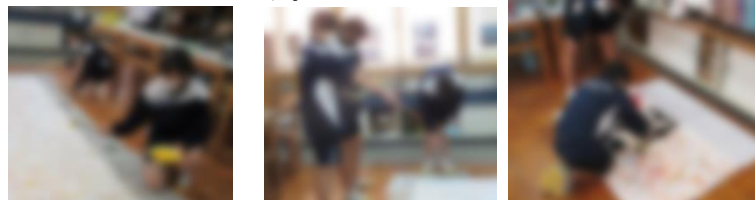
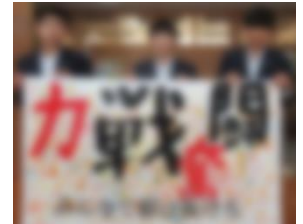


体育的行事委員会「学園運動会スローガン作成」

美術科 青木 奈央

今年度の学園運動会スローガンは「力戦奮闘～みんなで駆け抜けろ～」に決定しました。そのスローガンを掲示できるよう3年生全員で制作し、4月26日より、校内2階のオープンスペース前に掲示しています。レタリング・グラデーション塗りされたものと、直筆で力強く書かれたものの2パターンあり、どちらも3年生が運動会にかける思いを感じさせるエネルギッシュでダイナミックな作品に仕上がりました。掲示された後には、1、2年生がスローガンを見て、3年生に「背景はどうやって描いたんですか」と尋ねたり、「直筆は気持ちの勢いを感じる」などと感想を述べたりしていました。

運動会だけではなく、今年1年間の檜原学園を団結させるキーワードとして、たくさんの人を勇気づける存在であってほしいと思います。



←作成の様子

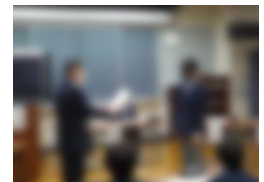
↑完成したスローガン

生活指導部「5月7日 生徒総会」

生徒会担当 入江 理恵

「今日は何の日か知っていますか? 檜原中学校の開校記念日です。今まで先輩たちが築いてきたものを更に発展させられるよう活発な話し合いをしていきましょう。」という生徒会長 KMさんの呼びかけで始まった生徒総会。その言葉どおり、たくさんの質問や意見交換がされ、活発な話し合いが行われました。

認証式では校長先生から認証書が渡され、生徒会役員、専門委員として認められました。これからの檜原中学校を築いていくみなさんの今後の活躍を期待しています。



第2学年「払沢の滝を観光名所に！プロジェクト」

第2学年副担任 内田 佳世子

檜原学園では、総合的な学習の時間に「ふるさと檜原学習」を行っています。今回第2学年では、「払沢の滝を観光名所に！プロジェクト」の一貫として、滝の清掃をしながら魅力や課題を考える活動をしました。観察をする中で、「木のチップが歩きやすい」といった魅力や、「払沢の滝の案内板が見つけにくい」といった課題が見つかりました。「グーグルマップはどうなっているんだろう?」などの疑問も出てきたので、今後はICTを活用しながら、払沢の滝を通して、檜原村をよりよくする方法を考えていく予定です。



六 月 予 定	1日(火) 朝礼、面談期間 ~7日(月)	18日(金) 避難訓練
	側湾検診(1)	21日(月) 国際交流会、水泳指導始
	2日(水) 体力調査 ~8日(火)	22日(火) 5時間授業
	4日(金) 5時間授業	23日(水) 6時間授業、道徳(いじめに関する授業)
	7日(月) 専門委員会	28日(月) 期末試験 ~30日(水)
	14日(月) スポフェス	30日(水) 安全指導、セーフティ教室
	15日(火) キャリア探索(2)	



